

# 津久戸

平成31年1月31日

2月号 新宿区立津久戸小学校

## クラブ活動

クラブ活動は、異年齢の児童で共通の興味・関心を追  
求する活動です。今年の活動内容の一部を紹介します。

「科学」スライム・線香花火作り、顕微鏡での観察  
「創作」陶芸・工作・行事ポスター  
「スポーツ」おにごっこ・野球・サッカー  
「家庭科」香り袋・ミサンガ作り、お菓子の調理実習  
「パソコン」レゴ・パワーポイント・プログラミング  
「ダンス」TWICE・チア☆ダンなどの曲に合わせて  
「日本文化」茶道・百人一首・阿波踊り鳴物体験  
「ゲーム」オセロ・将棋・人狼ゲーム・人生ゲーム

今年度を振り返り、子どもたちの意見から来年度も  
さらに楽しめる活動を工夫していきたいです。

## 子どもの健やかな成長を願って



副校長 内藤 徳子

「愛してあげれば、子供は、人を愛することを学ぶ」

「認めてあげれば、子供は、自分が好きになる」

「見つめてあげれば、子供は、頑張り屋になる」

ドロシー・ロー・ノルト/レイチャル・ハリスの詩

「子は親の鏡」の一部です。シンプルな言葉の中に、  
誰もが共感できる子育ての知恵があります。作者は、  
子どもはいつも親の姿を見ていて、数々の躰の言葉  
よりも、親のありのままの姿のほうをよく覚えている  
と述べています。親は、子どもにとって人生で最初  
に出会う最も影響力のある「手本」とも述べています。

子どもは、家庭と学校と地域の力によって健全に  
育つと考えます。学校では教師がその役割を果たし、  
家庭では親が手本となり、そして地域の目に見守ら  
れる中で、子どもは育ちます。

子どもたちは実に様々な姿を見せます。だから、こ  
んなふうに育ててほしいと思っても、そう思う  
ようにはいかず、時に、子育てに悩むこともあるので  
はないでしょうか。家庭と学校の役割は違いますが、  
子どもの成長にとって、それぞれの役割を果たすた  
めに、ともに考えることが大切だと思います。

2月15日(金)、16日(土)には、今年度最後の  
学校公開を行います。ぜひ、この1年で成長したお子  
さんの姿をご覧いただきたいと思います。いろいろな  
姿の中から、つい気になりがちな“できていないとこ  
ろ”や“直したほうがよいところ”ばかりに着目する  
のではなく、“さらによくなるために”どんな声掛け  
をするかを探っていただければと思います。

## はじめまして よろしくお願ひいたします

愛日小学校から津久小学校に着任し、10か月が  
過ぎました。着任してすぐ、「愛日小に友達がいる  
よ!」「〇〇さん、知ってる?」と、多くの子どもた  
ちが、私に話しかけてくれました。お隣の学校という  
こともあり、地域の学校同士で仲良くしている様子  
が伺えて、微笑ましく思いました。

前任校は、新築1年目の新しい校舎でしたが、津久  
戸小は、昭和8年に完成した建物を大切に使用して  
います。第一階段の作りや「コの字」に続く長い廊下、  
柱の曲線など、趣があつて素敵だなと感じました。

図工室の材料や道具の在りかがすぐに分からず、四  
苦八苦した時期もありましたが、少しずつ津久戸小の  
図工室にも慣れてきました。そして、校内のあちこち  
を見て回って、展示方法を検討したり、図工室以外で  
の活動場所を考えたりもしてきました。先生方や事務  
さん、主事さんから、たくさん支えて頂き、今日まで  
無事に過ごすことができました。津久戸小の皆さんに  
は、本当に感謝しています。

そして何より、子どもたちが図工の時間を楽しみ、  
よく取り組んでくれることが、とても嬉しいです。

人は、言葉だけでは伝わらない気持ちのニュアンス  
をもっています。子どもならば、なおさら自分の思い  
の全てを言葉だけで表現することは、難しいのではな  
いでしょうか。そんな、子どもたちの様々な「思い」  
を、図工を通して伝えられたらと思っています。これ  
からも子どもの姿から、語りかけてくるその「思い」  
と「形や色」に寄り添っていきたくと思います。

## 日本の音・箏

新指導要領には、中学年から取り上げる旋律楽器の中に和楽器の例として箏が取り上げられています。本校でも、箏の学習をしています。

私が箏と出会ったのは、今から三十年くらい前、教育実習の時です。たまたま東京芸術大学の邦楽科の学生と教育実習が一緒になり、箏の歴史やしぐみ、記譜法、「さくら」の生演奏を聴く授業を見学することができ、全てが新鮮だったのを記憶しています。当時の音楽教育では、授業に箏を取り上げることは大変珍しく、音楽の教員養成にも和楽器が取り上げられることは、ほとんどなかったのではないかと思います。その時の箏の音色は、私の心に残り、ひとりでも多くの児童に日本の音や日本の音楽のよさにふれてほしいというのが、私の音楽教員としての目標のひとつになり、今も研修を続けています。

本校に赴任してからも、神楽坂商店会会長さんなどのご尽力があつて、宮城道雄記念館などから箏を寄贈していただいたり、校内予算で少しずつ増やしたり、箏の技能指導でお世話になっている川村利美先生にご協力いただいたりして、二人に一面で箏にふれる環境が整ってきています。今年度の音楽会や新宿区合同音楽発表会（音楽の集い）では、箏17面、箏より低音が演奏できる十七弦2面を活用して、演奏発表することができました。オリンピックも間近に迫り、自国の文化を愛好し、外国の文化も尊重できる人を育成していきたいと思っています。

### 2月の生活目標

#### 『身の回りの物を大切にしよう』

- ・使った物の片づけをしよう。
- ・落とし物をしないようにしよう。
- ・持ち物に名前をつけよう。
- ・みんなで使う物を大切にしよう。

津久戸小学校の玄関にある、落とし物入れを見ました。ハンカチやタオル、給食袋、手袋にネックウォーマー、上着までありました。とてもたくさんの物が無記名なので、持ち主まで届きません。

まずは、自分の持ち物に名前を書き、自分の物を大切にしましょう。そして、みんなで使う物も大切にすることを心がけてほしいです。

（生活指導部）